

令和元年度 とよかわ市民協働推進計画実施施策評価結果

【評価結果一覧】

方針名	施策名	委員会評価
市民活動に関する情報収集・提供	紙媒体による情報提供の充実	4
	インターネットなどの効果的な活用	4
人材育成と協働意識の醸成	担い手の育成と活用	4
	協働意識の醸成	4
市民活動団体の支援	活動拠点の充実	3
	財政的支援などの充実	4
	人的支援の充実	4
市民協働推進の仕組みづくり	推進・連携体制の整備	4
	協働事業の評価・公表	4

※委員会評価の点数は、裏面にある5点満点評価の数値を使い配点をしています。

【委員会意見】

総合評価については、4点以上が8施策となり、概ね、具体策の目的達成度や効果は計画どおりであると評価します。

基本方針1「市民活動に関する情報収集・提供」の実実施策1「紙媒体による情報提供の充実」においては、小学生向け町内会活動啓発冊子を作成し、授業での活用や出前講座を実施しました。町内会の取り組みについて学ぶ機会が設けられ、小学生からも「地域を支えるために、町内会がお祭りや、防災訓練をしていることを知り、わたしも活動に参加していきたい」という意見が寄せられるなど、大きな成果があったと評価します。また、講座情報等について、民間の情報誌に掲載される回数も多く、情報提供の充実が図られました。引き続き多様な情報誌への掲載を推進するとともに、企業への協働意識啓発の働きかけも意識した情報提供を期待します。

実施施策2「インターネットなどの効果的な活用」においては、新たにTwitterを開設するなどFacebookと合わせて、SNSを活用した効果的な周知方法が図られました。また、市民が広報リポーターとして情報提供できる仕組みづくりによる、市民目線での情報発信や、インターネットを活用した参加申し込みの簡素化など、講座に参加しやすい環境を整備したことを評価します。今後は、フォロワー数を増やす工夫など、インターネットやSNSの利用について広く周知していくことを期待します。

基本方針2「人材育成と協働意識の醸成」の実実施策1「担い手の育成と活用」においては、NPOや事業所と協働して若者ボランティア体験講座の体験事業数を増やしたことで、活動する選択肢が増え、幅広く活動することができたことや、地域のコミュニティーリーダーを養成する仕組みができていることを評価します。一方で、今後、受講者が体験したことを、どのように活用できるか、フォローを含め、受講者の今後の取り組み方を検討する必要があります。

実施施策2「協働意識の醸成」においては、若い世代の方や市民活動初心者でも気軽に読

むことができ、多くの市民が協働に興味・関心をもつ契機となる「協働ガイド」を作成したことや、各課への市民協働推進員の設置により、全庁的に協働を進める体制を整備したことなど、協働の意識啓発に繋がったと評価します。今後は、意見交流会・研修会等を通じて提供された課題を検討し、より良いものとすることを期待します。

基本方針3「市民活動団体の支援」の実施策1「活動拠点の充実」においては、ボランティア・市民活動センターの相談窓口を平日以外にも開設したことにより、利便性の向上を図ったことを評価します。今後は、整備した環境を周知し、利用者数が増えることに期待します。

実施策2「財政的支援などの充実」においては、市内にある事業所が町内会活動に対しサービスや割引きなどを提供する町内会応援事業所制度の創設や、とよかわ応援寄付金・クラウドファンドの活用等、さまざまな形で支援を行ったことを評価する一方で、制度周知が十分でない事業もあるので、多くの団体に活用してもらうよう工夫することが必要です。

実施策3「人的支援の充実」においては、スキルアップ講座を開催したことで、受講した市民活動団体の知識・技術の向上を図ったと評価する一方で、参加者が少ない講座もあるので、情報発信の強化等、参加の呼びかけを考えることが必要です。

基本方針4「市民協働推進の仕組みづくり」においては、町内会同志の交流を図ったことなど、マッチングの仕組みづくりで一步踏み出せたことを評価します。

とよかわ市民協働推進計画を計画的かつ効果的により遂行することで、「地域と行政がしっかりと支えているまち」に近づいていくことを期待します。

参考

【評価基準】

評価点	評価基準
5	具体策の目的達成度や効果は非常に良好であり、継続して行うべきである
4	具体策の目的達成度や効果は良好であり、継続して行うべきである
3	具体策の目的達成度や効果は計画どおりであり、継続して行うべきである
2	具体策の目的達成度や効果が少し不十分であり、内容の一部見直しを要する
1	具体策の目的達成度や効果が不十分であり、根本的見直し、または中止を要する

【評価の方法】

評価は、実施策ごとに事業実績報告書と目標指標実績報告書を確認し、目的達成度や効果などを客観的に評価して、次の基準により実施する。